



事前研修 (6/1) 第2回事前研修

阿倍野防災センター ～「災害に備える」～

大阪市立阿倍野防災センターを訪問し、2時間のプログラムを体験しました。
被災時に自分たちがまずできること、自助・共助について学ぶことができました。

- ・災害発生時の初期対応・初期消火
- ・実際の煙の中での避難体験
- ・災害発生後の街中での危険対応
- ・震度7体験



震度7の体験装置



煙の中の避難体験



被災直後の危険箇所

生徒たちの振り返り・感想

2年 内藤

防災センターに行ってけむりの充満のしかたを見たり震度 7の地震の体験などをした。震度 7は自分が想像していたよりもはるかに大きくて手すりなどがなかったら体を支えることはほぼ不可能だなと思った。今回の経験を通して私は災害時に 1番命取りになるものは「油断」だと考えた。自分たちの街は大丈夫、津波なんてくるはずがないという思い込みや一瞬の気の緩みが実際に災害が起きたときの逃げ遅れる原因になるんだと思う。だから私は、いつ災害が起こっても迅速に対応できるように日頃から避難場所を決めておいたり自分の街に想定される災害についてよく知っておく必要があると思った。また、情報を家族内でも共有して防災意識を高めていきたい。

2年 古谷

防災センターに行ってけむりの充満のしかたを見たり震度7の地震の体験などをした。震度7は自分が想像していたよりもはるかに大きくて手すりなどがなかったら体を支えることはほぼ不可能だなと思った。今回の経験を通して私は災害時に1番命取りになるものは「油断」だと考えた。自分たちの街は大丈夫、津波なんてくるはずがないという思い込みや一瞬の気の緩みが実際に災害が起きたときの逃げ遅れる原因になるんだと思う。だから私は、いつ災害が起こっても迅速に対応できるように日頃から避難場所を決めておいたり自分の街に想定される災害についてよく知っておく必要があると思った。また、情報を家族内でも共有して防災意識を高めていきたい。